

報道関係各位  
企画展のご案内

# 筒井康隆展



1. 「断筆宣言」記念人形 1993年

**GOD降臨。**

**筒井康隆初の大規模展覧会！**

**10月6日(土)～12月9日(日)**  
**世田谷文学館**

広報に関するお問い合わせ：世田谷文学館学芸部 佐野・原

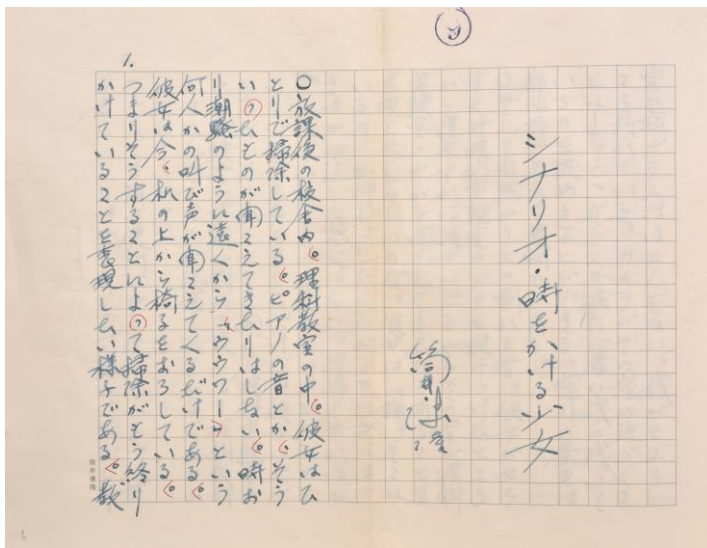
157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 TEL 03-5374-9111 / FAX 03-5374-9120

## Summary

『時をかける少女』『七瀬ふたたび』『虚人たち』『虚航船団』『旅のラゴス』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『モナドの領域』…、エンターテインメントと純文学の垣根を自由に越境、常に読者を驚かせ、魅了し続ける作家・筒井康隆。

1960年、江戸川乱歩が編集する雑誌「宝石」に掲載された「お助け」で作家デビューした筒井康隆は、星新一・小松左京とともに「SF 御三家」と呼ばれ人気を博します。その後は SF の枠に止まらない実験小説を次々と発表し、唯一無二の筒井康隆ワールドを築き上げてきました。

2018年秋、世田谷文学館では、今なお旺盛な創作活動を続ける、現代文学最高峰・筒井康隆の世界を紹介する展覧会を開催します。すべてにおいて規格外のこの作家の魅力を、初公開の原稿ほか多彩な資料と、独創的な展示空間でお伝えします。



2. 筒井康隆『シナリオ・時をかける少女』原稿 1983年

## Profile

### 筒井 康隆 つついやすたか

1934年大阪市生まれ。1960年SF同人誌「NULL」を発刊し、江戸川乱歩に認められて作家活動を開始する。81年『虚人たち』で泉鏡花賞、87年『夢の木坂分岐点』で谷崎潤一郎賞、89年『ヨッパ谷への降下』で川端康成文学賞、92年『朝のガスパール』で日本SF大賞、2010年菊池寛賞、17年『モナドの領域』で毎日芸術賞を受賞。02年に紫綬褒章を受章。主な作品に『時をかける少女』『家族八景』『大いなる助走』『虚航船団』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『聖痕』など多数。舞台・テレビ出演など幅広く活躍中。



3. 筒井康隆  
撮影：網中健太

## Topics

### ◎見どころⅠ 筒井康隆の「凄み」とはこのことだ！

★ 「小説を書こう、あるいは小説家になろうと決めた時から、その人の書くものには凄みが生じる筈である。小説を書くとは、もはや無頼の世界に踏み込むことであり、良識を拒否することでもある。」(『創作の極意と掟』2014年講談社)

小説に一般常識などの制限も、文学ジャンルの固定もなく、常に新しい試みを目の前に提示する、筒井作品の凄み。星新一・小松左京らとともに日本にSFを根付かせた作品群、実験的な言葉・方法論を駆使したスラップスティック作品、哲学的理論を小説へと昇華させる実験作、時代を超えて愛されるジュブナイル…膨大かつ多ジャンルの作品が、すべてひとりの作家から生み出されたことの衝撃とスケール感を、斬新な展示手法で体感していただきます。(会場デザイン:トラフ建築設計事務所)

### ◎見どころⅡ 「筒井康隆劇場」出現！

★ 学生時代は、日活ニューフェイスに応募するほどに演劇にのめりこんだ筒井康隆。20歳の時に劇団・青猫座に所属し数々の公演に出演し、新聞に「新劇界今年のホープ」として、仲谷昇とともに紹介されました。1982年、筒井は自身が座長の「筒井康隆大一座」を立ち上げ、『スタア』(監督:内藤誠 製作・原作・脚本・音楽・出演:筒井康隆)ほか、演劇・映像作品を数多く手掛けます。1999年には、演出家・蜷川幸雄のたつての希望で、チェーホフ作『かもめ』に、作家のトリゴリン役で出演して好評を博しました。会場の「筒井康隆劇場」では、『かもめ』、『スタア』ほか貴重な映像をご紹介します、俳優・筒井康隆の活躍を存分にご覧いただけます。

### ◎見どころ 読者との交流・多彩なエピソード

- ★ 筒井康隆のファンクラブは1976年に発足しました。名誉会長は、ジャズピアニストの山下洋輔。そのほか各界にも熱烈なファンが大勢います。「ツイスト」(筒井の一挙手一投足を強烈に楽しむことのできる読者)たちとのユニークな交流と、彼らの手により集められた資料が結集するコーナーでは、その熱量に圧倒されること間違いなしです。
- ★ 代表的なエピソードでは、差別用語をめぐるマスコミの脆弱さに抗議し、一切の執筆を断つことになった「断筆宣言」(1993年)があげられます。断筆中に俳優業を再開し、山下洋輔、坂田明らジャズ・ミュージシャンらと「筒井康隆断筆祭」を開催するなど、文学というジャンルに拘らず、無頼の世界を求め続ける筒井康隆の凄みをご堪能ください。

## Events

### 事前申込

#### 1. トーク&オークションイベント「わたしの筒井康隆」

多彩なゲストを迎えてのトークと、筒井さん愛蔵のSF蔵書ほか、秘蔵の品々を一挙販売するオークションイベントです。オークション終了後には、筒井さんの朗読会が開催されます！

##### ①第1回

[日時] 11月3日(土・祝)18:00~20:00  
 [出演] 菊地成孔(音楽家・文筆家)、筒井康隆  
 [会場] 1階文学サロン [対象] 一般  
 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名  
 [申込締切] 10月20日(必着)

##### ②第2回

[日時] 12月1日(土)18:00~20:00  
 [出演] 中川翔子(タレント)、筒井康隆  
 [会場] 1階文学サロン [対象] 一般  
 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名  
 [申込締切] 11月17日(必着)

#### 2. 筒井康隆展 記念対談「筒井康隆を語る」

筒井作品を愛読する作家・松浦寿輝さんとの豪華記念対談です。筒井作品の魅力について、存分に語り合ってください。

[日時] 12月8日(土)15:00~16:00  
 [出演] 松浦寿輝(作家)、筒井康隆 [会場] 1階文学サロン  
 [対象] 一般 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名 [申込締切] 11月24日(必着)



4. 菊地成孔



5. 中川翔子



6. 松浦寿輝

#### 3. どこでも文学館ワークショップ

「もっと朗読を楽しもう～プロの読み方を聞いてやってみよう～」

展覧会を記念して「時をかける少女」を朗読します。声のプロフェッショナルである講師の指導のもと、本格的な朗読を体験して、文学に親しみましょう。

[日時] 10月14日(日)14:00~16:30  
 [講師] 緒方賢一、水田わさび  
 [会場] 青少年交流センター池之上青少年会館 1階音楽室 (世田谷区代沢 2-37-18)  
 [対象] 中学・高校生 [参加費] 無料 [定員] 抽選20名 [申込締切] 9月28日(必着)

平成30年度 文化庁 地域の美術館・歴史博物館を中核としたクラスター形成事業

申込方法 催事1-①、1-②、2、3は、各締切日までに往復ハガキ(1イベントにつき1枚)に①イベント名、②参加者名(2名まで連名可)、③代表者の住所・電話番号を明記のうえ、世田谷文学館「筒井康隆展」係へお申し込みください。返信用にも代表者の住所・氏名をご記入ください。応募者多数の場合は抽選となります。結果は締切後、返信ハガキでお知らせします。

## Events

**当日参加**

### 4. 朗読会「筒井康隆を読む」

[日時]11月24日(土)13:30～15:30(開場 13:00)

[出演]声を楽しむ朗読会

[司会・解説]福島勝則(多摩美術大学名誉教授)

[会場]1階文学サロン [対象]一般

[参加費]無料

[定員]当日先着150名

### 5. 関連企画 ミニ古本市

#### 「クラリスブックス」特別出店！

下北沢の古書店クラリスブックスによる小さな古本市です。

SF、文学、思想、映画などのジャンルから筒井康隆の著作や関連書籍を集めて特別出店します。

[日時]12月1日(土)・2日(日) 11:00～17:00

[会場]1階ロビー

[参加費] 入場無料

### 6. 「筒井康隆劇場」 特別上映

展示会場「筒井康隆劇場」で上映している作品を、会期中の土曜日・日曜日に限り、2階講義室でもじっくりご覧いただくことができます。

\* 作品・上映スケジュールについてはお問い合わせください。

## Outline

- 展覧会名** 筒井康隆展
- 会 期** 2018年10月6日(土)～12月9日(日)
- 会 場** 世田谷文学館 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10  
TEL03-5374-9111 FAX03-5374-9120 <http://www.setabun.or.jp/>
- 開館時間** 10:00～18:00(展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで)
- 休 館 日** 毎週月曜日(ただし10月8日は開館し、翌日は休館)
- 交通案内** 京王線:「芦花公園」駅南口より徒歩5分  
小田急線:「千歳船橋」駅より京王バス(千歳烏山駅行)利用「芦花恒春園」下車徒歩5分
- 観 覧 料** 一般800(640)円、65歳以上・高校・大学生600(480)円、  
障害者手帳をお持ちの方400(320)円、小・中学生300(240)円  
※( )内は20名以上の団体料金 ※10月12日(金)は65歳以上無料
- 主 催** 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
- 協 力** KADOKAWA、河出書房新社、講談社、出版芸術社、新潮社、中央公論新社、  
日本SF作家クラブ、早川書房、文藝春秋、ホリプロ
- 後 援** 世田谷区、世田谷区教育委員会
- 展覧会担当** 世田谷文学館学芸部 中垣理子

### ■同時期開催コレクション展

徳富蘆花と烏山ゆかりの文学者たち 10月6日(土)～2019年3月31日(日)予定

### ■次回企画展

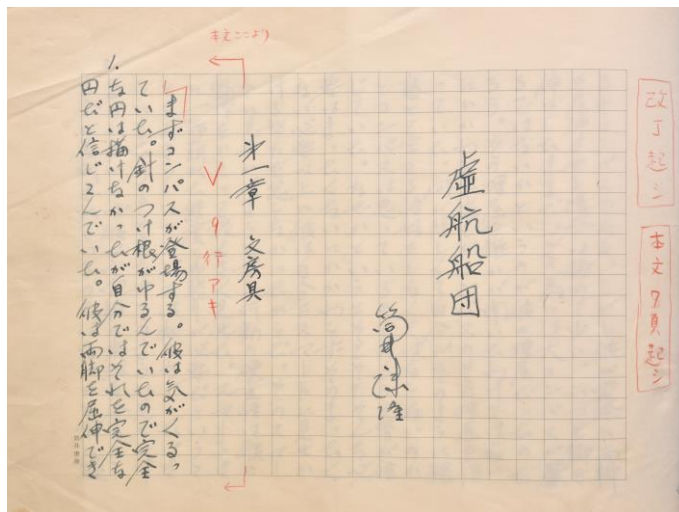
第37回 世田谷の書展 2019年1月8日(火)～14日(月・祝)

ヒグチユウコ展 CIRCUS[サーカス] 2019年1月19日(土)～3月31日(日)

# Images



7. 筒井康隆



8. 筒井康隆『虚航船団』原稿



9.「筒井康隆大一座」公演『ジーザス・クライスト・トリックスター』ポスター



10. 筒井康隆作品の数々



11.「筒井康隆断筆祭」記念の手ぬぐい 1994年 デザイン:和田誠

# 筒井康隆展 広報用画像貸出申込書

## 世田谷文学館学芸部 佐野・原 行

### FAX 03-5374-9120

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記貸出条件をご確認のうえ、本申込書に必要事項をご記入いただき、ファックスまたはEメールにてお申し込みください。Eメール添付にてJPEGデータで画像をお送りいたします。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。

#### 【広報用画像貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後はWEBサイトから必ず削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 :

媒体種別 : 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト

発売・放送・更新予定日 :

御社名 :

御担当者名 :

御住所 :

Eメールアドレス :

電話番号 :

FAX番号 :

#### 画像（画像には必ず下記のクレジットを付してください）

- 画像1 「断筆宣言」記念人形 1993年 \*P1掲載
- 画像2 筒井康隆『シナリオ・時をかける少女』原稿 1983年 \*P2掲載
- 画像3 筒井康隆 撮影:網中健太 \*P2掲載
- 画像4 菊地成孔 \*P4掲載
- 画像5 中川翔子 \*P4掲載
- 画像6 松浦寿輝 \*P4掲載
- 画像7 筒井康隆 \*P7掲載
- 画像8 筒井康隆『虚航船団』原稿 \*P7掲載
- 画像9 「筒井康隆大一座」公演『ジーザス・クライスト・トリックスター』ポスター \*P7掲載
- 画像10 筒井康隆作品の数々 \*P7掲載
- 画像11 「筒井康隆断筆祭」記念の手ぬぐい 1994年 デザイン:和田誠 \*P7掲載